

1200万署名・NPT代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031 FAX:03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年3月25日 No.38 NPT開幕まであと39日

「核兵器のない世界を」署名

同日に2知事が署名

5月3日からニューヨークで行われる核不拡散条約(NPT)再検討会議に提出する「核兵器のない世界を」署名に24日、高橋はるみ北海道知事、荒井正吾奈良県知事が署名しました。署名した知事は秋田(佐竹敬久)、栃木(福田富一)、埼玉(上田清司)、香川(真鍋武紀)、長崎(金子原二郎)につづき、7人になりました。

2月議会最終日の3月24日、閉会後に知事が議員団室をあいさつに訪れた際、NPT再検討会議ニューヨーク行動に奈良県代表団の一員として参加する今井光子日本共産党奈良県議会議員の申し入れに応えたもの。

これに先立つ3月5日、今井議員は代表質問で荒井県知事に対し、議員の地元北葛城郡で4自治体(王寺町、河合町、上牧町、広陵町)の首長全員から賛同を得たこと、奈良県下では全自治体が非核平和都市宣言を採択していることを紹介し、核兵器のない世界についてどのように考えているのかと質問。知事からは「核兵器のない世界の実現は、県民はもとよりすべての人々の切なる願いであると思っている」と答弁がありました。



保井伸介王寺町長から署名を受け取る今井光子県議

今井県議はホームページ(<http://www.mituko-imai.com/iryuu/page027030.html>)でも署名のとりくみを紹介し、一人でも多くの署名を届けたいとの思いで署名のお願いに迴っています。

「私の平和の思いの原点」と北海道知事が署名

高橋はるみ北海道知事は同日、NPT北海道代表団の表敬訪問に応じ、「核兵器のない世界を」国際署名を託しました。

高橋知事は代表団に対して、「核兵器は地球上から廃絶しなければいけないと感じており、オバマ米大統領の勇氣ある発言を心強く受けとめました。日本は世界のどの国よりも真剣に取り組むべき使命を持っています。健康に留意して、所期の目的を達してください」と激励しました。

高橋知事は、1995年に広島、長崎の原爆資料館を訪れたことを振りかえり、「一つひとつの展示に涙が出て、2人の子どもから『お母さんはそんなに泣く人だったの』と言われてしまいました。私の平和の思いの原点です」と語りました。

表敬訪問には、岩淵尚北海道原水協事務局長と北海道代表団の花岡ユリ子さん(日本共産党北海道議会議員)ら6人が出席しました。

ハガキ付きカラーリーフ
全職員に配布
航空自衛隊百里基地を抱える茨城県小美玉市では、島田穰一市長が署名に賛同し、ハガキ付きカラーリーフを庁舎内の全職員に配布してもらうことになりました。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/g-news/>
携帯電話からもアクセスできます。